

中央公論美術出版

ジャン＝シメオン・シャルダンの芸術

——啓蒙の時代における「自然」と「真実」——

船岡美穂子（東京藝術大学）著

定価 18,700 円（本体 17,000 円＋税 10%）

A5 判上製函入 口絵 16 頁 本文 512 頁 ISBN 978-4-8055-0897-8 C3071 2022 年 3 月刊



本書はたくみな写実と魔術にも比される絵画技法が特徴であり、やがて 19 世紀以降の近代絵画の展開にも影響を与えていった、18 世紀フランス絵画を代表する画家ジャン＝シメオン・シャルダンの全画業を対象とした国内初にして最新の学術書である。当時の啓蒙思想家や美術愛好家たちに高く評価され、美術史のみならず、文学・哲学・社会史といった隣接分野から高い注目を集めるこの画家についての初のモノグラフィー。

目次 概略

序論

第一章 研究史

- 第一節 十九世紀の再評価
- 第二節 二十世紀のカタログ・レゾネと基礎研究
- 第三節 静物画研究
- 第四節 人物画研究
- 第五節 問題提起

第二章 初期の静物画作品

- 第一節 自然模倣神話の再考
- 第二節 初期様式の生成
- 第三節 初期静物画作品の所蔵者
- 第四節 王立絵画彫刻アカデミー入会（一七二八年）
- 第五節 一七三〇年代の静物画作品の様式

第三章 中期の人物画作品

- 第一節 人物画作品の様式
- 第二節 サロンと美術批評
- 第三節 人物像表現の飾り気のない (naïveté)
- 第四節 人物画作品の所蔵者

第四章 後期の静物画作品

- 第一節 後期の静物画作品の様式
- 第二節 美術批評と美術論
- 第三節 後期静物画作品の所蔵者
- 第四節 シャルダンの伝記の執筆と背景

結論

附録 A ピエール・ジャン・マリエット

「シャルダン（ジャン・バティスト・シメオン）」——翻訳と解題

附録 B シャルル・ニコラ・コシャン（子）

「シャルダン氏の生涯についての試論」——翻訳と解題

初出一覧／あとがき／参考文献一覧／図版一覧／索引

Résumé

Table des matières



《木いちごのかご》



《エイ》

【著者略歴】 船岡 美穂子（ふなおか・みほこ）

2010年、東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了（博士〔美術〕）。東京藝術大学美術学部教育研究助手、日本学術振興会特別研究員（RPD）を経て、現在は、東京藝術大学美術学部のほか、慶應義塾大学、上智大学、京都芸術大学にて非常勤講師をつとめる。専門はフランス近世・近代美術史。

主著に、『絵画と受容：クーザンからダヴィッドへ フランス近世美術叢書Ⅱ』（共著）、ありな書房、2014年。近世美術研究会編『イメージ制作の場と環境—西洋近世・近代美術史における図像学と美術理論』（共著）、中央公論美術出版、2018年。『芸術愛好家たちの夢：ドイツ近代におけるディレッタンティズム』（共著）、三元社、2019年。

関連書籍

ディドロ『絵画論』の研究

佐々木健一 著

定価 44,000 円（10%税込）

詳細な全文註解とディドロの美学思想全体の展開や総括などの諸考察および対訳形式の校訂版原典という三分冊からなり、美学史上重要な著作である『絵画論』を主題とする世界唯一のモノグラフで、著者 35 年にわたる研究の集大成である。

B5 判函入 3 分冊（上製 2 冊・並製 1 冊）
本文 976 頁 2013.1 ISBN 978-4-8055-0693-6

フランス近代の図像学

木村三郎 著

定価 27,500 円（10%税込）

フランス近代において常に美術史の中心にあったニコラ・プッサンを中心としたフランス 17 世紀の絵画における図像表現のありかたと、18 世紀におけるその受容に関する研究集成。神話図像、宗教図像、歴史図像、寓意図像という視点から行った、ニコラ・プッサンの物語表現とその後代への影響を明らかにする。

B5 判上製函入 本文 430 頁 口絵 12 頁 2018.2 ISBN 978-4-8055-0850-3

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1

IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

お取り扱い